



ジェネックス今月のトピックス♪

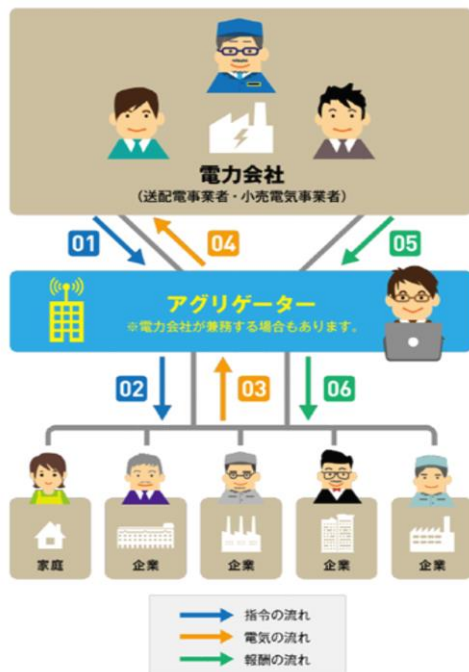


2018.3.4市民駅伝に参加しました



当日の天気は、曇りのち晴れ 風も無く走りやすい陽気で、41社中28位のジェネックス歴代過去最高順位でした。今年も何事も無く全員完走することが出来、来年も、地域のイベントに参加していきたい！と考えています。駅伝大会に参加した皆さん、応援下さった皆様本当に疲れ様でした！

ネガワット取引について



(「ダイヤモンドリスポンス (ネガワット取引) ハンドブック」を作成しました 経済産業省 参考)

2017年4月よりネガワット取引がはじまりました。節電により生み出された電力には発電した場合と同等の価値があるとみなし、企業や家庭の節電分に対して報酬金を支払う仕組みです。政府は2030年度までに最大電力需要の6%を活用する目標を立てています。電力の需要バランスを保ち安定供給に貢献するという狙いがあります。改革が進むことでますますネガワットサービス市場が活性化され拡大が見込まれます。

ドローン！ 確測！！

ドローンを使った、太陽光発電用地の測量が栃木県で行われました。太陽光の用地は造成を行うにあたり、測量を行わなければなりません。大規模な発電所となると、測量に時間がかかってしまいます。

今回、ドローンを使い測量を行った「テラドローン」は2haの空撮から測量データの製作を1日で完了しました。地上3Dレーザは計測で約3日、光派測量は約8日必要とされています。最新技術を取り入れて、再生可能エネルギーの普及が効率よく進むといいと思います。

測定方法	測定面積	測定日数	作成日数
テラ・ドローン	2ha	1時間	1人工(1日)
地上3Dレーザ測量	2ha	1日(平均)	2人工(2日)
光波測量	2ha	3日(平均)	10人工(5日)

従来方式とテラドローンの新サービスの比較 出典:テラドローン

激変！ EV市場！！

国内外の自動車メーカーで急速にEV開発が進んでいます。世界各国で排ガス規制が厳しくなり国民レベルで、環境問題への関心も高まっているため、多くの人々が新しいEVの登場を待ち望んでいます。日本でもトヨタが2025年までにエンジン車(HV,PHVを除く)の販売をしないという宣言をしております。日本もEVに関して、急速に開発が進んでいきそうですね！！EV市場ではダイソン社やヤマダ電機もEV事業に参入するとのことで既存の自動車メーカー以外の企業の活躍にも注目です。実はテスラ社の電気自動車を3月22日に納車予定です！！今後が楽しみです！！

※地代や賃借料の払い忘れにお気を付け下さい※ ※発電所の草刈は年2回がベストです※

「ジェネックス通信」毎月1回発行「いつでもお問い合わせください。」